

授業概要

他の司書課程科目での学修を踏まえ、実際におこなわれている図書館サービスのより具体的な理解を深める作業を指導します。

利用教育としてのレポートの書き方指導の方法、実際のレファレンスサービスに関する記録の輪読、図書館利用案内の収集と検証、パスファインダーの制作を予定しています。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	利用教育 1.レポート作成に関する解説書やガイドライン
第3回	利用教育 2.レポート作成の実際
第4回	レファレンスサービス 1.公共図書館
第5回	レファレンスサービス 2.大学図書館
第6回	レファレンスサービス 3.専門図書館
第7回	レファレンスサービス 4.学校図書館
第8回	図書館案内 1.紙による利用案内
第9回	図書館案内 2.ウェブによる利用案内
第10回	図書館案内 3.図書館の概要を伝える
第11回	図書館案内 4.さまざまなサービスを伝える
第12回	パスファインダー 1.パスファインダーの実例
第13回	パスファインダー 2.テーマの設定とメディアの種類
第14回	パスファインダー 3.設計と調査
第15回	パスファインダー 4.制作
第16回	

到達目標

図書館員の職務につくことを前提に、次のことの基礎的かつ実践的な理解を目指します。

1)利用者教育の局面で求められるプレゼンテーションやレポート作成の技法、2)レファレンスサービスにおける図書館員の職務やレファレンスツール、3)実際の図書館に関する情報の収集と読解。

履修上の注意

実際に各自の作業を通じて学ぶので、能動的・主体的な参加が求められます。

司書課程の中でも応用的な科目です。なるべく基礎的な科目を学んだ後での履修を心がけてください。特に「図書館概論」は履修済みであることが望まれます。

履修登録者数によって、課題件数の調整を行います。

予習復習

各課題について、授業の前に事前に作業を進めてください。

講義中に出た新しい用語について、自ら説明ができるまで確認をしてください。

授業中に終わらなかった課題は、次回までにおこなっておいてください。

評価方法

課題レポート(合計 50 点満点・必須)および演習の状況(50 点満点)を主とします。それに授業への貢献(議論への参加など)および自由提出のレポートを加え、すべてを足して 51 点以上を合格とします。

テキスト

適宜必要な資料を配布します。